

ともの会のあゆみ 2013年～

- 2003 年 (H15)

（
- 2013 年 (H25)
- 2014 年 (H26)
- 2015 年 (H27)
- 2016 年 (H28)
- 2017 年 (H29)
- 2018 年 (H30)
- 2019 年 (H31/R1)
- 2020 年 (R2)
- 2021 年 (R3)
- 2022 年 (R4)
- 2023 年 (R5)
- ・鳩吹山ともの会設立（4 月）

・2003（平成 15）年から 2013（平成 25）年までの 10 年間分は「鳩吹山ともの会 10 年のあゆみ」にまとめた
- ・鳩吹山ともの会創立 10 周年記念事業実施

記念式典と記念誌「鳩吹山ともの会 10 年のあゆみ」発行

・南帷子小キッズクラブの鳩吹山登山支援（第 1 回）

・遊歩道ルート外の合同パトロール協力 市・警察・消防・土田財産区・ともの会（第 1 回）
- ・カタクリまつり協力・支援（第 1 回）

・市の登山者動向調査（アンケート調査）に協力

・もみじ祭協力・支援（第 1 回）
- ・「花フェスタ 2015 ぎふ」に、鳩吹山ともの会ブースで協力

活動紹介のパネル展示・森のゆうびん・森のおくりものワークショップ
- ・可児スマイリングルームの鳩吹山登山支援（第 1 回）

・帷子小鳩吹山登山支援（第 1 回）
- ・市主催「きっずアドベンチャー」支援

・可児市里山の日を、鳩吹山ともの会が実行委員長として開催

・ケーブル TV 可児の「好きなのはカニダー ふるさとの山に親しむ」の収録協力
- ・可児市観光協会から寄付金授与される（長年の活動が認められ）

・女子会が開催され、ゆる山クラブ発足につながる
- ・岐阜県地域子ども支援賞受賞

・東海 TV ニュース One で「低山登山のススメ」の取材対応
- ・コロナ感染症で 2020, 2021, 2022 年の 3 年間、総会は書面表決とした

・連絡会を e-mail を活用したオンライン形式とし、活動を自粛し中止することもあった
- ・鳩吹山ともの会の創設者・初代代表の三宅健治氏死去
- ・可児市観光ガイドブック「ぶらっと可児あるき vol.2」作成に協力

・「日本ライン・KISOGAWA River to Summit 2022」開催に協力
- ・鳩吹山ともの会創立 20 周年記念総会

・20 周年記念植樹として「オオバヤシャブシ」を真禅寺ルートに植樹

・会報「鳩吹山」の特別号「鳩吹山ともの会 20 周年記念誌『あゆみ』」を発行



大脇ルートより望む木曽川と市街地



雪景色の鳩吹山の



小学校の鳩吹山登山を支援

鳩吹山ともの会 20 周年記念誌 あゆみ

表紙絵：法月俊雄
編集・デザイン・制作：柿元章吾
校正：水野可律子

発行人：西川一三
発行所：鳩吹山ともの会
発行日：2023 年 5 月 30 日

The 20th Anniversary of Hatobukiyama Tomonokai



鳩吹山ともの会
20 周年記念誌

あゆみ

鳩吹山とものに想う

相羽 清

20 周年おめでとうございます。

私は知人から誘いをいただき入会し、会員番号 1 番です。あれから 20 年長く続いたもんだと感無量。沢山のの人にめぐり会え、支えられてここまで辿り着きました。会の皆さんほんとうにありがとうございました。

第 2 の人生、まさに幸せです。もともと田舎育ちで山が大好きで、鳩吹山へは月 10 日くらいのペースで登っていたので数千回登頂しました。だから、山へ恩返ししようとボランティアを始めました。保全活動、パトロール、カタクリ保護など鳩吹山ともの会は山を守り育てるグループ。パトロールで山を知り、不具合を見つけて市へ報告し、地主さん、行政と三者で対応して行く。問題点を、発見することが最も大切。会員同士で仲良く、問題点をつぶして行く事です。山を守るという目標は同じです。

2005 年、花フェスタ記念公園で 5 ヶ月間園内の案内や、車いす貸出し手伝いのボランティアを行いました。ここで、ボランティアとはを教えて頂きました。人の為ではない、自分の心の満足感だと。そして有償活

動より無償活動の尊さ、喜びを知りました。今頃気づくのは遅いと笑われるかな！

山はいいもんだ。きつい登りも良い。山野草もきれい。下界にない景観、樹木から出る酸素、おいしい水、友達とのモグモグタイム。ある脳科学者は、登頂した時に、生命エネルギーが出ると言う。こんな条件が揃えば健康にならないはずがない。リュックも自分の体も重くしないで、競わない、ゆっくりと。あの山この山登ったと、自慢せず登りましょう。金持ちもバカも利口も平等に迎えてくれます。そんな山が大好きです。



登山道整備活動に参加する筆者

鳩吹山ともの会を支える五つのグループ

環境保全グループ

安全・安心な登山にむけて

グループリーダー 吉田 博行



私たちは、平成 15 年 4 月の発足当時から会の 5 本柱の一つとして活動してきた。環境保全活動は会の活動のなかでも最も体力を必要とする活動である。チェーンソーを使つての枯れ木の伐採、その切り倒した枯れ木を玉切りにして登山道の外へ運ぶ、土のう袋へ砂利を詰めて登山道の路肩へ並べる等、かなりの重労働である。

このような活動であるが、意外に女性も多く参加してくれる。体を動かすのが好きな人、鋸で木を切るのが好きな人、高い木に登るのが好きな人、チェーンソーで木を切り倒す瞬間に快感を感じる人等様々である。また、安全を確保するために「笛を吹く」という重要な役目もある。女性の参加でその場の雰囲気や和やかになり気持ちも安らぐ。これが、事故を起こさないことに繋がっているのではないと思う。発足当時は、怪我也あったと聞いているが、今は皆無である。

会員の高齢化が進む中、参加される方の体への負担をいかに軽減するか、作業時間、作業内容等の精査が必要ではないかと思っている。



倒木処理を行う登山道保全活動

パトロールボランティア活動グループ

楽しく元気に啓発活動

グループリーダー 古田 圭式



結成 20 周年を迎えるに当たり、今日までボランティア活動に参加できたことに感謝している。また、会員の皆様の協力、そして諸先輩の皆様方の努力によって、楽しく、元

気に継続が出来た。今後は、若い女性リーダーのもと益々の活躍をお祈りする。

【登山マナーの啓発活動内容】

- (1) 巡視活動＝火気厳禁（タバコ、登山用火器の使用等）、ペットに対する啓発＝同伴禁止
- (2) 環境美化活動＝ゴミ投棄防止、及び、遊歩道枯れ木、枯れ枝、倒木等整備協力
- (3) パトロール会員各自、巡回及び一斉パトロール
- (4) その他遊歩道の安全確保協力（登山道、階段修理等）



登山口で啓発活動を行った際の新聞記事（2021.3.5）

地域支援グループ

体験自然学習から未来へと

グループリーダー 柿元 章吾



私は、10 代の頃から山登りやキャンプ、魚釣りや様々なアウトドア体験を重ねてきた。そして、サラリーマン退職後は自然に関する活動に関わりたいて考えていた。そこで、様々な団体が開催する研修に参加してきた。清里及び霧ヶ峰でのインタープリター研修に始まり、日本体験学習研究所での各種講座、日本自然保護協会での自然観察指導員資格等だ。そこで得た思



土田小学校カタクリの学習（2022.5.19）

想・哲学や知識を、実際の現場で活かしていきたいと考えている。その重要な実践の場が、本会での地域支援グループでの活動だ。本会においては、会員の皆さんにも私が学んだモノ・コトをお伝えし、地域の子供達の体験学習がより豊かで、持続可能な未来へと繋がって行く事を願っている。会員の皆様、ぜひとも本グループの活動に積極的に関わっていただき、ちっぽけな一歩かもしれませんが、より良い未来へと共に歩んで行きませんか。

登山グループ

体力に合わせた山行を

グループリーダー 山田 栄雄



私は、令和 2 年 4 月から登山グループのリーダーとして活動を行っている。先輩のリーダーは山の知識と経験が豊富な立派なリーダーばかりだったので、その後で大変だと思っていた。コロナの影響により登山があまりできなかったが、山梨県の日向山の頂上では一面が白い砂浜で素晴らしい景色が広がり、みんなが満足できた。一泊山行では、三ッ峠山の開運山の頂上から富士山の絶景が目の前に見えた。

10 年前とは参加者のメンバーが変わったが、最近も 20 名位の参加者がある。令和 5 年 1 月には納古山、遠見山に行った。低山登山だが、展望も良く下山時には皆で大きな声で合唱し盛り上がった。

これからも体力に合わせて低山登山も計画したいと思う。そして、参加者全員で「明るく、楽しく、元気に」実施したい。是非、多くの皆さんに参加していただきたい。



遠見山山行（2023.1.18）

自然保護グループ

10 年間の活動状況

グループリーダー 笹崎 三雄



前半は鬼木リーダーの下で、植物調査に取り組んできた。可見川下流域の植物のガイドブックに紹介されている多数の植物の、自生状況を確認する活動だ。自生している場所を見つける作業が大変困難で苦労した。それでも大半を見つける事ができた。調査結果は以下の通りである。

- ・ガイドブック登録の植物の種類：381 種
- ・自生していることが確認できた植物：371 種
- ・確認できなかった植物：10 種（その中で、4 種は消滅と断定）

後半はリーダーが交代して、新リーダーの笹崎の下で植物観察会とササユリの保全活動に取り組んでいる。植物観察会は自然を楽しむ事が目的で、最近も参加者も 10 人程度に増え、楽しい催しだ。ササユリの保全活動は 2017 年から環境保全グループと合同で活動し、その結果、ササユリの開花数は 32 本まで増えた。しかしイノシシの被害が発生。昨年（2022 年）は 14 本に減った。イノシシの撃退対策は進めているが、実現出来るか否か？難しい課題だ。



観察会（2023.2.4）



保全しているササユリ

鳩吹山ともの会 20 周年記念事業

オオバヤシャブシの植樹

吉田博行



植樹後、看板を設置

思えば早いもので、ともの会も発足から今年の 4 月で 20 周年を迎えました。その 20 周年記念行事の一つである、記念樹を植樹する作業を 3 月 31 日（金）行いました。

この日の空は、さも、ともの会の前途が洋々であるかのように思わせる快晴で、作業日和でした。

女性 2 名、男性 6 名の有志で、真禅寺ルート上の、火災の証木である、オオバヤシャブシの近くに、オオバヤシャブシの苗木 3 本を植樹しました。ツルハシやショベルを使って穴を掘り、苗木の根に優しいようにと、あらかじめ用意していた腐葉土を入れ、苗木を植え付けて、作業を終えました。

ショベルやツルハシを使って植穴を掘ったが、石や木の根があり、大変な作業でした。作業に参加され、一汗かかれた皆様、お疲れ様でした。



植樹後の記念写真

懇親会の開催

事務局

4 月 17 日（月）、湯の華アイランドで行われた R5 年度定時総会の終了後、鳩吹山ともの会創立 20 周年を記念して、同じ場所で懇親会が開催されました。

冒頭、新代表の西川氏より高島元代表に対し、長年の功績を評し記念品が贈呈されました。高島元代表ありがとうございました。



記念品を受け取る高島元代表

乾杯の音頭は、顧問兼宴会部長の吉田博行氏にお願いしました。「かんぱーい!」。

今回は 20 周年を記念して、会員の皆さんへの慰労と還元の意味も含め、ともの会にて飲食費を負担しました。豪華な昼食弁当に握り寿司、飲み放題と太っ腹な事務局です。

今年度は、新規入会者が 11 名もありました。懇親会の開始に先立ち、新入会員の方々に一言ずつご挨拶をいただきました。フレッシュな会員の皆さんと一緒に益々ともの会を盛り上げていきたいですね。



たいへん美味しかったです！



事務長の司会で始まった新入会員の自己紹介

ともの会へのメッセージ

事務局

今回は、総会・懇親会への出欠ハガキにおいて、会員各位にメッセージをお願いしました。ここに、ご紹介させていただきます。

◎20 周年おめでとうございます。4 月に入会いたしました。20 年続いてきた鳩吹山ともの会の活動に参加できるのを楽しみにしています。（安藤茂美）

◎ともの会 20 周年おめでとうございます。幹事の皆様、四季折々の素晴らしい山行を計画して下さい感謝です。たくさんの登山の思い出が増えました。ありがとうございます。また、今後もお世話になります。よろしくお願いいたします。（井戸良江）

◎次の 10 年を目指し「みどりの環境保全」のため張り切って生きましょう。（加藤敏男）

◎先人の方々の努力の賜物で 20 周年の節目を迎えました。これを機に、新しい時代に見合った活動が今後も脈々と続きますように!!（千賀徳子）

◎自然保護グループに参加して、毎年同じ場所を観察していますが、ある年ある場所にひょっこりと現れる植物（例えば、アキザキヤツシロラン、ミズオオバコ）に不思議な世界を感じて、感動しています。今年も見たい植物に会えることを楽しみに、観察会に参加したいです。（滝佳子）

◎もっと登山を続けたい。25 周年まで身体もつかな。（立石勝利）

◎最初に活動していた 20 年前は、大脇の三宅さんが会長。岐阜大を退官されたばかりの林進さんに来ていただき、山頂西斜面に植樹しました。当時は、山火事の後で木もまばらでした。ともの会も 20 歳を過ぎて、大人の活躍を期待します。（長谷川洋昭）

◎いつもお世話になっております。6 月に仕事も辞めますので今年こそは山行に参加できるようにと思っております。よろしくお願いします。（林千津子）

◎この度は、鳩吹山ともの会の創立 20 周年誠におめでとうございます。記念樹のオオバヤシャブシの成長を見守りながら、25 周年を迎えるまでともの会で活動するのが、私の目下の目標です。今後ともよろしくお願いいたします。（水野可律子）



参加者 49 名で記念写真

ともの会に寄せて…

私と鳩吹山ともの会

吉田博行

私がともの会に入会したのは、会が設立された平成15年でした。入会したものの当時はまだ現役で、仕事も忙しかった頃です。

会の目的である「登山活動を通じてより健康で豊かな人生を目指す・自然保護、保全のために必要な活動を行い良好な環境に寄与する」という理念には賛同するので、会費は出すが会の活動には口も手も出さないという、いい加減な賛助会員でした。

定年を迎えた時、故人となられた初代代表の三宅さんに勧められて、いや半ば強制的に事務局をやるように言われ会の活動に足を踏み入れたのが間違いでした。気が付いたら代表に担ぎ上げられていて、後悔したものです。なぜなら初代代表の三宅さんは会の創設者であり、山の大先輩でもあり、代表として会を10年引っ張ってこられた。このような偉大な方の後を継いだ訳だから後悔するのも無理もありません。とはいえ男としてもう後戻りはできない。開き直って自分は自分のカラーで行こうと心に決め「楽しくなければボランティアではない」をスローガンに会の舵取りを始めました。幸いなことに、もともと酒が好きで強いのも味方となり、会のムードを明るく楽しくできたのではないかと自負しています。

皆さまのお陰で5年間代表として会の先頭に立ち旗振りを務めることができたことに感謝します。有難うございました。



代表になって初めての登山支援が一番の思い出（土田保育園）

私と鳩吹山

吉田勝子

平成10年から鳩吹山へ登り始めて25年経ちました。鳩吹山には色々な思い出があります。登っている時ある人に「鳩吹山ともの会」に入会するように勧められました。「山に登らせてもらっているのだから」と言われ賛助会員として入会しました。

その後パトロールのサブリーダーを務める事になり、昨年までサブリーダーを務めてきました。思い返すと書ききれない位思い出が沢山あるので・・・

私の3,000回鳩吹山登頂記念を祝ってくださったこと、山菜を採って天ぷらにして食べたこと、保全活動の時チェーンソーで切った木が倒れる瞬間をワクワクして見ていたこと、10匹以上のリスの群れに出会ったこと、カモシカやキツネに遭遇したこと、他にもありますがとても書ききれません。

今現在鳩吹山登頂は3,288回です。これからも自身の体と相談しながら鳩吹山を楽しみたいと思います。



北八ヶ岳「白駒の池」にて、雨の中の山行

何もかもが懐かしき思い出

山口昭美

定年退職後菜園ライフを楽しんでいた頃です。私の隣で菜園をしていた方から「毎週水曜日に鳩吹山に登っていますが、一緒にいかがですか」とお誘いを受けました。やがて、鳩吹山で相羽ご夫妻と知り合い、そこでもともの会の事をお聞きし、入会することにしました。会員番号は109番、丁度ともの会が発足した年の9月のことでした。

鳩吹山は、昭和62年4月19日から3日間の大火を起こしています。原因はタバコのポイ捨てとも。すっかり禿山となった鳩吹山の登山道はどこを歩くのも自由です。登山道以外でも歩けることになった事から踏み荒らしが目立ち更には、タバコの吸殻、ゴミのポイ捨て等が目立つようになりました。それを憂えた時の有志達が鳩吹山ともの会を創ったのです。

さて、ともの会の活動において特に覚えている事を記します。自然保護のリーダーをしていた時に、土田小3年生の出前授業をした時の事です。種の採取から種まき、発芽から開花まで、カタクリについての授業をしました。丁度、父兄参観日で教室は満員でした。

また、山行グループでの山行では、写真の担当をしていました。皆さんのリクエストに応えるべく、前へ後ろへと走り廻った事を覚えています。その中でも、尾瀬への山行は印象的です。長い木道、湿原に逆さに映った皆さんの姿等、燧ヶ岳から至仏山へのコースは絶景



尾瀬ヶ原・・・長い木道歩き

でした。何もかもが懐かしき思い出です。

最後に私の近況です。これまで鳩吹山には3,600回登りました。80歳までは登り、五千回が目標でした。こんなに早くリタイヤする事になろうとは。眼の病気で山に行けなくなった私は、やがて車の免許証も返納しました。その他の病気ともうまく付き合いながら、菜園、老人会、里山若葉等の活動を続けています。生きている限りは、何事にも深刻にならず考えずに生きてやろうと思っています。最後に短歌と俳句を贈ります。

人好きで 三密好きの この吾が
今は島にて 土と語らふ

さながらに 大地の息吹 露の臺



尾瀬ヶ原・・・湿原に映った我々一行

ともの会に寄せて…

シデコブシ分布調査と位置表示板設置

鬼木博文

20 周年記念と言うことで、2004 年入会の自分が新入会員だった頃の活動を、当時の会報を見ながら、自身が関与した行事を記します。

< 会報誌 vol. 15 >

シデコブシ分布調査 調査日 H17(2005).8.5&10

“西山－80”からの北回りコースを約 50m 進んだ先で、橋の手前左側の藪の奥に生息している数多くのシデコブシを可児市の天然記念物に登録しようと、現地調査が 4 回に亘り行われました。それまでに標木ごとに、水で洗われてむき出しになった根部の土寄せを行い、1 本 1 本について、番号を付けて『樹高』『幹回り』『枝張り』を記録し、位置を正確に図面化するため、全体枠にロープを非舗装の駐車場の枠線の様に張り付けました。



現地測量中

4 回目は、対象物の位置を測量の上、図面化し 75 株 106 本を確認しました。

「これらの調査データは天然記念物指定申請に向けて岐阜大学林進名誉教授の下で整理され、他のデータと共に天然記念物審議会へ移行した。」その結果、市指定文化財として、次の 1 行が加えられました。



中日新聞可児東濃版（平成 18 年 5 月 28 日）

「鳩吹山のシデコブシ自生地 土田 4909-1 地内
天然記念物」

ただ、この地内への立ち入りが禁止され、現状確認が出来ていません。当時可児市は“必要最小限の環境整備を進めたい”と話していました。しかし、20 年近く放置されています。現状確認等を行うよう、提案したいと思っています。

< 会報誌 vol. 18 >

鳩吹山位置表示板 設置作業 実施日 H17(2005).3.9

今、鳩吹山登山道で見掛ける、濃い緑地に“真禅寺－20”等と書かれた標識は、きっちり役目を果たして 18 年になります。この標識、「過去に山火事災害や事故が発生しているが、現場の特定に困難があったため、今回は鳩吹山の登山ルート 5 コース（大脇・真禅寺・西山・北回り・カタクリ）に表示板を合計 36 ケ所設置したものです。作業は可児市から 2 名、ともの会から 23 名が参加して安全を願いながらスムーズに行われた。」



表示板設置作業

私がともの会へ入会した時点で、図面上の位置はすでに決まっていて、設置作業の当日は 5 人のグループが 1 コースを担当しました。長さ 50m の紐を 2 人で持ち、200m 毎に穴を掘り表示板を埋めながら進みました。

この表示板は可児市と警察及び消防で共有され、役立ったという直接の話は聞いたことはありません。それは大きな事故が発生しなかったことを意味し、鳩吹山の登山道が安全であることを示していると考えています。
＊ゴシック書体「」は会報の文面を引用したことを示す。

鳩吹山とものにありがとう

吉田正成

20 周年おめでとうございます。私は、60 歳で定年退職し、特にこれといった趣味もなく、健康を兼ねてウォーキングを始めて、可児歩こう会に入会しました。そこで、鳩吹山とものの会の事務局長をやっておられた吉田弘司さんに出会い、「ボランティアと登山」の会であることを知り、興味を持ち 2004 年 9 月より入会しました。

登山は全くやったことが無く、9 月の毘沙門岳、11 月の三周ヶ岳から参加して、山登りはきついが、頂上に着いてとてもすがすがしい気分になり、山々の景色に感動しました。その当時の山行リーダーは同じ伏見出身の鍵谷始さんで、とても親しみを感じ毎月参加するようになりました。ボランティアも登山道の整備やミツバツツジなどの植樹等に参加して多くの人と出会い楽しい時を過ごすことが出来る様になりました。



左から前島、筆者、吉村、山口の一行

特に山が好きになったのは、入会して 1 年後に鬼木さん、前島さん、藤島さんに誘っていただいて初めて日本百名山へ泊りで行ったことです。日光白根山、尾瀬の燧ヶ岳、甲武信ヶ岳へ 4 泊 5 日で往復 800km 程を自分が運転して行けたことが自信になり、その後日本百名山に登る計画を立てる様になりました。特に、印象に残る山行は、前島さん、吉村さん、山口さんと 4 名で行った、後立山の白馬大雪渓を登り白馬岳、不帰キレット、不帰の嶮、五竜岳、八峰キレット、鹿島槍ヶ岳、爺ヶ岳、扇沢への 4 泊 5 日の大縦走と、もう一つは、相羽さん、山口さん、高島さんと 4 名で行った、折立から太郎小屋、黒部五郎岳、鷲羽岳、水晶岳、雲の平への 3 泊 4 日です。



左から筆者、高島、山口、相羽の一行

沢山の山友達が来て、皆で行くのが好きで、百名山へバスやマイクロバスで行く計画をして、北は青森県から南は鹿児島県まで 75 座登りました。皆さんに喜んで参加していただき、楽しい沢山の思い出が出来ました。残りの百名山は行程が長く、もう無理ができる年齢ではないので登りやすい 3 ～ 4 座に挑戦しようと思っています。

これからは楽な近場の山へ、山友の皆さんと楽しく登りたいと思っています。

私にとって「鳩吹山ともの会」は人生の後半を有意義に楽しく沢山の友達と過ごせる時を与えてくれたすばらしい会です。ありがとう!!

ともの会に寄せて…

セブンマウンテン傘寿山行

佐藤正行

81歳の誕生日を迎え、昨年は鳩吹山セブンマウンテンに登る事が出来ました。今年は体力的に心配でしたが、鳩吹セブン山行に参加しました。



鳩吹セブン同行者と（左から筆者、芦田、千賀、上野）

朝6時に西川、立石、勝野、本田、千賀、上野、芦田、中村、佐藤の9名で真禪寺コースから登って鳩吹山の大神、西山、川平コース天神山、桃山から下り栗栖神社で休憩して東山の急登を登りました。せせらぎコースを通り大平山への登りで、遂に足が攣り皆さんが心配してくれました。皆さんには先に行って貰い、後から付いて行くからと無理を言ながら、昨年のソロ登山を思い出しながら登りました。

奥穂高岳、槍ヶ岳、北アルプスの裏銀座、折立登山口からのソロ縦走、太郎平小屋からの薬師沢小屋、黒部川の吊り橋から厳しかった雲の平への急登、雲の平山荘から祖母岳、祖父岳からの急坂を下り三俣山荘からの鷲羽岳、水晶岳へ登り、三俣山荘からの三俣蓮華岳、黒部五郎小屋をあとに黒部五郎岳から中俣乗越、赤木岳、北ノ俣岳を超えて太郎平小屋への長い苦しい道でした。

漸く大平山でなんとか皆さんに追いつき、継尾山の山道の階段で又、足が攣り遅れて東屋で合流したのも束の間、北洞溜池を超えた所で又足が攣り菅刈で何とか合流出来ました。山登りは楽しいです。鳩吹セブンに同行していただいた皆さんには本当にご迷惑をお掛けしました。ありがとう。

感謝のメッセージ

藤原純子

やさしさに感謝。初めて会の活動に参加した時「ここに来たら!一緒に食べよ!」、この声掛けは嬉しかったなあ。思えば、ともの会の敷居をまたいだこの日から約15年。今は、あまり活動に参加出来ないのですが、年のせいでもあるのでしょう。楽しかった思い出ばかりが浮かびます。一緒に山に登って少女のようにはいしゃいだ仲間の皆様、ありがとう。途中で動けなくなった時、荷物を持ってくださった方、ありがとう。

今日この頃、自分なりに心豊かに生きられていると思うのです。それは、人とのつながり、自然とのふれあいが心の中に溢れる程に満ちているからだ。ですから私にはともの会さまさまなのです。そしてもう一人、どんな時にも送り出してくれた夫にも感謝です。ともの会の皆さま、ありがとう。鳩吹山、ありがとう。そうそう、心残りが一つ。定光寺～西可児の30kmコースを10回目標にしたのですが、8回でコロナのため断念。後2回はもう無理かなあ。



北アルプス穂高連峰に囲まれた涸沢カールにて

多くの人と関わり楽しく生きる

高島 勝

鳩吹山ともの会創立20周年おめでとうございます。私は、退職した2009年11月に入会させていただきました。当時、“山”でボランティアが出来て、登山も出来るグループは無いだろうかと思っていた時、可児市の広報で「鳩吹山の登山道整備のボランティア募集」の案内を見て応募しました。ボランティア後、30名近い参加者の一人から「今日の参加者はほとんど鳩吹山ともの会の人で、良かったら入会したら」と声を掛けていただき入会させていただきました。

入会後は、登山道の整備・保守やパトロール等々のボランティアに参加し、毎月の登山にも参加させていただきました。その内、特別企画の登山にも声を掛けていただき、沢山登山させていただきました。

振り返ってみれば、毎月の山行で100位の山に登り、特別企画や個人的に登った分も含め百名山も60数山登っています。

鳩吹山ともの会入会後は、山での作業や登山を通じて、これまでの会社関係以外の沢山の方々と知り合いになりました。多くの人と知り合う機会を提供してもらい、有益な人生を過ごさせてもらっていることに感謝したいと思います。人間は一人では生きて行けず、いろんな人と関わって楽しく生きていく生物だと思つづく思います。

今後も体が動く限り、鳩吹山ともの会のいろんな活動に参加したいと思っています。



苗場山を歩く

私と鳩吹山ともの会

西川一三

鳩吹山ともの会の皆さん、創立20周年という記念すべき年を迎えたことに、心よりお祝い申し上げます。

私は、幼少より可児市に住んでいました。しかし、鳩吹山は一度も登ったことがなく、山は他の人が登るものと思っていました。定年を迎えた頃、吉田先輩に勧められてこの会に入会し、やっと10年になりました。

初めての山行は、静岡県之三ツ星山でしたが、まだその頃は服装などの把握も出来ず、寒さで楽しさもほとんどありませんでした。それ以降、都合のつく限り参加するようになり、山の先輩の皆さんから登山のマナー等色々教えて頂き、何とか一人前になりつつあります。

何よりも登山をして感じるのは、写真で見る景色と実際に目で見える景色の違いです。本物を見た感動を、登山をするようになり初めて味わいました。このように、ともの会に入り多くの皆さんと交流が出来、充実した人生を楽しんでいます。



中央アルプス 駒ヶ岳山頂にて

ともの会に寄せて…

夢のようなあたらしい世界

立石勝利

私が入会したのは 2016 年 4 月、8 年目に入った立石です。何も知らない素人で、それまで一般的なサラリーマン。会社のお陰で 70 歳まで働き無事に定年退職しました。また現職中は例に漏れず麻雀&飲み会とゴルフ、休日には競馬などに明け暮れ登山などは馬鹿にしていました。まあ、ハイキング程度は誘われて行く事はありませんが。

ともの会で経験したこの 7 年は、夢のような新しい世界でした。感激したり感動したり思い出が沢山です。一回目の山行は 2016 年 4 月 20 日の西方ヶ岳です。以降、皆勤賞で現在に至っています。私の女神は吉田勝子さんと岩崎志津子さんです。初歩的な事を教わり、感謝しています。そこで一番印象に残っている事柄を記述して寄稿文にしようと思います。



剣岳カニのタテバイに挑む

入会した 4 月に定光寺から西可児駅までの 30km ウォークの事。帰路、元気な顔で名鉄電車に乗車しました



槍ヶ岳に登頂

が、足が痙攣、ひざがガクガクで犬山駅の手摺が有り難かった。一番厳しかった山は「高妻山」。最後の急登は今でも鮮明に思い出します。登頂して感動一番怖かった山は「四国の石鎚山」。入会してすぐにベテランに混じり参加して有名なあの鎖場、足をどこに?ほとんど腕だけでの登攀で、帰宅して 3 日間、腕が上がらない程の筋肉痛で大変な思いをしました。

一番に惚れた(知った)花は「松虫草」。綺麗で鮮やかな紫色で、名前もすぐに覚えました。一番楽しかった山は、「東北の名峰、岩木山、八甲田山、岩手山、八幡平、奥入瀬、那須岳、青森のりんご園」。同行してくれたメンバー達に感謝&感謝でした。そして代表高島さんに連れて行って貰った、「槍ヶ岳、立山、剣岳」が自慢です。

これからも体力を保持し、気力を蓄え、経済的に儉約して山行に参加して行きたい!



鳩吹山登山道整備、手鋸で低木を伐倒する筆者

鳩吹山は私のトレーニングジム

芦田典子

私は子供の頃から山が、特に北アルプスが大好きでした。でもその頃は見て憧れるだけのものでした。そんな私が登山をするようになったのは、50 歳半ばを過ぎてからです。主人の還暦の祝いにと友人に誘われ、無謀にも富士山に登ったのがきっかけです。とつてもつらなかったけど、麓で見るよりずっと大きく輝いている星、雲海の向こうから昇ってくるご来光! いっぺんに魅了されました。それから、白山、立山など高い山に登るようになりました。

しかし高い山に登るには筋力・体力が必要です。山に登る身体作りに何が適しているか? ある本に「山に登る事が一番」と書いてありました。近くにトレーニングに最適な鳩吹山があるではありませんか。

ちょうどその頃「ともの会」に誘われたのも何かの縁だと感じ、早速入会しました。春にはいろいろな花を眺めながら、秋には紅葉に包まれて、冬には御嶽山を始め白山、中央アルプス等々雪山の景色を満喫しな

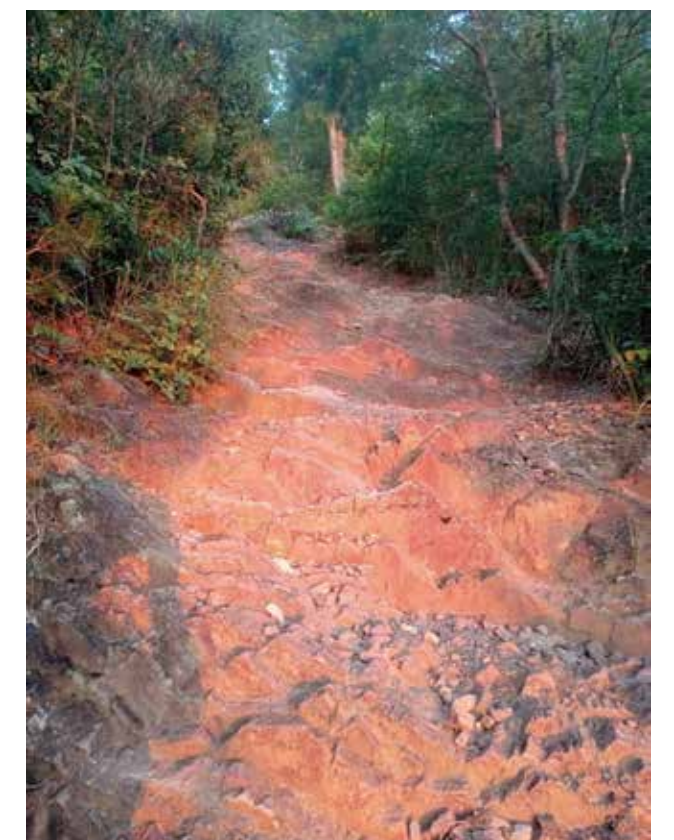


鳩吹山山頂にて日の出を迎える

がらトレーニングをしています。ただ、夏は日差しと照り返しでぐったりです。

そこで思いついたのが早朝トレーニング! 日の出前から登り、頂上付近でご来光を見て下る。約 1 時間のトレーニングです。これがとても気持ち良い。続けるうちに身体が山になじんでいくのが感じられます。

このトレーニングと、ともの会の仲間のおかげで、子供の頃憧れていた、槍ヶ岳、五竜岳などに登頂する事が出来ました。鳩吹山ありがとう。ともの会の皆さん、これからもよろしくお願いします。



朝日に染まる鳩吹山登山道

ともの会に寄せて…

楽しくボランティアに参加して恩返し

上野啓子
 「鳩吹山ともの会」20周年おめでとうございます。
 私は平成30年に入会して6年目です。持病の喘息がなかなか改善せず、プールに通って体力作りをしようと医者に相談したところ「プールより有酸素運動が良い」と言われウォーキングを始めました。そのうち、ウォーキングが物足りなくなり鳩吹山に登りだしました。

当時は、カタクリ登山口しか知らず、無謀にもカタクリコースにチャレンジしましたが、小天神に着くまでに3回はかかり、大天神山頂に辿り着くには1ヶ月を要しました。

そのうちに、何とか西山休憩舎まで行けるようになり、途中で出合った方に『木曽川流域』のマップをいただき、歩いたコースをマーカーで塗っていました。そんなある日、偶然にも2組の方に「ともの会」へのお誘いを受け、会員勧誘デーかな？ と思いながらも入会しました。

初めての山行は、鍋倉山・藤倉山でした。バス酔いをして、バスを停めてしまい、荷物も持っただき、情けないデビューでした。それからたびたびバスを停めてしまいすみませんでした。

入笠山で雨が降り、傘をさして登る会員さんに驚きました。初めての泊り山行、涸沢で穂高連峰に感動し、

いつかは北アルプスに登りたいと秘かに思いました。そして、毎月の山行の他にも乗鞍岳・西穂独標・焼岳・東北百名山・槍ヶ岳等、沢山の山に登り、見たこともない景色を見て、一緒に登る仲間も出来て、山と「鳩吹山ともの会」に感謝です。喘息発作もなくなり、体も丈夫になりました。

これからも細く長く山に登り「楽しくなければボランティアではない」の言葉どおり、一つひとつのボランティアに楽しんで参加出来たら、何よりの恩返しになるのかなぁ～と思っています。



御嶽山のコマクサ



天狗池の逆さ槍



モルゲンロートの槍ヶ岳



ナナカマドと槍ヶ岳

10年間の山行記録（2013年度～2022年度）

2013年度(平成25)

4月	岩古谷山 (799)	設楽町
5月	守屋山 (1,650)	諏訪市
6月	小白木峰・白木峰 (1,437 / 1,596)	飛騨市
7月	蓼科山 (2,530)	茅野市
8月	鳳凰三山 (2,840)	荊崎市
9月	戸倉山 (1,681)	駒ヶ根市
10月	位山 (1,529)	高山市
11月	三ツ星山 (1,185)	中川根町
12月	朝熊ヶ岳 (555)	伊勢市
1月	高根山・山星山 (253 / 327)	定光寺町
3月	鳩吹山清掃登山	



鳳凰三山

2014年度(平成26)

4月	青葉山 (693)	高浜町
5月	医王山・白ハゲ山 (936 / 896)	南砺市
6月	南木曾岳 (1,677)	南木曾町
7月	編笠山 (2,523)	北杜市
8月	雨飾山・榑池自然園 (1,963)	小谷村
9月	池山 (1,773)	駒ヶ根市
10月	鎌ヶ岳 (1,161)	菰野町
11月	平家岳 (1,442)	大野市
12月	鳩吹山清掃登山	
2月	天王山・誕生山 (537 / 502)	美濃市
3月	羽黒山・筆捨山 (291 / 286)	亀山市



平家岳

2015年度(平成27)

4月	伊那・鳩吹山 (1,320)	伊那市
5月	福地山 (1,671)	奥飛騨
6月	高峰山・上悪沢山 (1,599 / 1,656)	平谷村
7月	田立の滝・柿其溪谷 (1,560)	南木曾町
8月	四阿山・根子岳 (2,354 / 2,207)	上田市
9月	日野山 (795)	武生市
10月	傘山 (1,542)	飯島市
11月	青山高原・髻山 (756)	白山町
12月	鳩吹山清掃登山	
2月	石巻山・坊ヶ峰 (359 / 448)	豊橋市
3月	比叡山 (848)	京都市



四阿山

2016年度(平成28)

4月	西方ヶ岳・サザエヶ岳 (764 / 685)	敦賀市
5月	釈迦ヶ岳 (1,092)	鈴鹿市
6月	銀杏峰 (1,441)	大野市
7月	美ヶ原高原 (2,034)	松本市
8月	高妻山・飯綱山 (2,352 / 1,917)	妙高市
9月	霧ヶ峰・車山 (1,925)	茅野市
10月	大門山・赤摩木古山 (1,571 / 1,501)	南砺市
11月	養老山・小倉山 (859 / 841)	養老町
12月	鳩吹山清掃登山	
2月	明神山 (1,016)	東栄町
3月	宇連山 (929)	鳳来寺町



高妻山

2017年度(平成29)

4月	岩岳 (999)	本巣市
5月	風越山 (1,536)	飯田市
6月	坊主岳 (1,961)	奈良井
7月	横山岳 (1,132)	長浜市
8月	苗場山 (2,145)	湯沢町
9月	伊吹山 (1,377)	関ヶ原町
10月	鬼面山 (1,890)	大鹿村
11月	鹿島山・大鈴山 (912 / 1,012)	設楽町
12月	鳩吹山清掃登山	
2月	衣笠山・滝頭山・藤尾山 (278 / 256 / 208)	田原アルプス
3月	竜頭山 (1,352)	浜松市



苗場山

2018年度(平成30)

4月	鍋倉山・藤倉山 (516 / 644)	今庄町
5月	霧訪山・大芝山 (1,305 / 1,210)	塩尻市
6月	入笠山 (1,955)	富士見町
7月	櫛形山 (2,052)	南アルプス市
8月	涸沢カール (2,300)	松本市
9月	牛岳 (987)	南砺市
10月	岩籠山 (765)	敦賀市
11月	武奈ヶ岳 (1,214)	大津市
12月	鳩吹山清掃登山	
1月	宮地山・五井山 (361 / 454)	蒲郡市
2月	神石山・座談山 (325 / 300)	豊橋市
3月	石津御岳・多度山 (650 / 403)	海津市・桑名市



入笠山

2019年度(平31・令1)

4月	三上山 (432)	野洲市
5月	猪臥山 (1,519)	高山市
6月	南沢山・横川山 (1,564 / 1,619)	清内路村
7月	八島湿原・鷲ヶ峰 (1,640 / 1,798)	諏訪市
8月	氷ノ山・竹田城跡 (1,510)	養父市
9月	御嶽山 (3,067)	木曽町
10月	初糠山 (1,744)	飛騨市
11月	山本山・賤ヶ岳 (324 / 421)	長浜市
12月	鳩吹山清掃登山	
1月	明王山・猿啄城	各務原アルプス
2月	満観峰 (470)	静岡市



鷲ヶ峰

2020年度(令和2)

9月	日向山 (1,660)	北杜市
10月	蓼科山 (2,530)	茅野市
11月	乙高山 (923)	長浜市
12月	鳩吹山清掃登山	
1月	八木山三山	各務原市
3月	堀坂山・観音岳	松坂市



蓼科山

2021年度(令和3)

4月	竜王山 (615)	栗東市
8月	北八ヶ岳丸山 (2,330)	茅野市
10月	陣馬形山 (1,145)	中川村
11月	八高山 (832)	島田市
12月	鳩吹山清掃登山	



陣馬形山

2022年度(令和4)

4月	光城山・長峰山 (912 / 933)	安曇野市
5月	赤坂山・寒風山 (824 / 840)	高島市
6月	富士写ヶ岳 (941)	加賀市
7月	青葉山 (693)	高浜町
9月	独鈷山 (1,266)	上田市
10月	大菩薩嶺・三ツ峠山 (2,057 / 1,785)	都留市・甲府市
11月	鳳来寺山 (684)	新城市
12月	鳩吹山清掃登山	
1月	納古山・遠見山 (633 / 272)	七宗町
2月	大山・蔵王山 (328 / 250)	田原市
3月	秋葉山 (866)	浜松市



赤坂山